



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「Step up 一歩前進」

国際会長主題 Together for a Better World「より良い世界のために、共に」

A・シャナヴァスカーン (インド)

アジア太平洋地域会長主題 Make a Great Impact「大きなインパクトを起こそう」

ジョウン・ウォン (香港)

西日本区理事主題 「つなげよう地域と世界、YMCA とともに」

鶴丹谷 剛 (神戸)

中部部長主題 「YMCAに笑顔を。ワイズに笑顔を。そしてみんなに笑顔を」

服部 庄三 (名古屋グランパス)

名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

——— 今月の聖句 ———

あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。
(使徒言行録 20 章 35 節)

強調月間 Community Service

◎ 3月第1例会

日程：2025年3月13日(木) 18:45～

会場：ラ・スースANN

担当：山本直子君

開会宣言・点鐘：山村喜久会長

ワイズソング

5つの信条：鷺尾文夫君

食前感謝：八木武志

— 会食 —

卓話：『あなたはリニアに乗ってみたいですか?』

水枯れ・地盤沈下…現場からの報告

講師：井澤宏明氏 (ジャーナリスト)

連絡事項

閉会宣言・点鐘：山村喜久会長

◎ 3月第2例会

日程：2025年3月27日(木) 19:00～

注意！例会日が変更されています。

会場：名古屋YMCA

◎ リーダー感謝会

日程：2025年3月23日(日)

会場：南山YMCA

◎ 4月第1例会

日程：2025年4月10日(木) 18:45～

会場：ラ・スースANN

◎ 4月第2例会

日程：2025年4月17日(木) 19:00～

会場：名古屋YMCA

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 2月末一在籍者 17名
(内広義会員 1名)
出席者 12名 (Make up2名)
出席率 75.0%

【特別ファンド】 仮集計
オークション 19,500円
現在保有額 1,710,101円

2月第1例会報告

今月はTOF (Time of Fast=断食のとき) で食事なし。例会の食事を抜いて、その分を国際協会へ献金し、世界の飢餓に苦しむ人々へのプロジェクト・奉仕活動、主に途上国で民生向上のために苦闘している活動に用いられます。食事がないので今月はYMCA本館の5階のチャペルでの例会で、例年オークションをプログラムとしてきました。

オークションは太田君の声掛けで始まりました。メンバーの高齢化や世相を反映し、品物の数もだんだん少なくなってきた中でも、なんとか品物が集まり、売上は19,500円でした。売上はクラブのファンドに繰入れますが、そろそろ会合の持ち方を考える時期かもしれません。(松本)

【参加者】浅野、太田、谷口、橋爪、松本、八木、山田、山村、山本、鷲尾、

2月第2例会報告

1. 3月第1例会の件

担当の山本君より以下の通り報告があった。講師はジャーナリストの井澤宏明氏。リニア新幹線の現状のお話を予定している。

2. 西日本区次期会長・主査研修会には、次期会長の神谷君、次期地域奉仕環境主査の山村君の出席を確認した。

3. 西日本区大会の件

登録はクラブ単位なので、参加予定者は3月第2例会(3/27)に確認し申込むこととした。

4. 名古屋YMCA日本語学院川柳コンテスト支援の件。

既に作品が届いているので、入賞作品の選定を開始する必要があるとのことで、山本君を委員長に選定を進めることとした。3月第1例会(3/13)には入賞作品を決定することとした。

5. リーダー感謝会の件

3月23日(日)16:00~18:00 南山YMCAにて開催される。3月第1例会にて出欠を

確認することとした。

6. 西日本区への各種献金支出について浅野会計より支出予定額103,200円が提案され承認された。(松本)

【参加者】浅野、神谷、柴田、谷口、橋爪、松本、山村、山本、鷲尾



ピンクシャッターを覚えて第2例会にて

3月卓話講師のプロフィール

井澤宏明 (いざわ ひろあき)

ジャーナリスト。岐阜県生まれ。同志社大学卒。1993年から読売新聞記者、2012年からフリー。共著に『表現の不自由展』で何があったのか』(緑風出版 2022年)。寄稿した記事に「住民を危機にさらすリニア中央新幹線 水源地を貫く中央アルプストンネル」「特集 持続不可能なリニア新幹線連鎖する事故に涉む JR 東海の焦り」(以上、「週刊金曜日」)、「名古屋城構想、早くも落城寸前 河村たかし名古屋市長『全員切腹』発言の自縄自縛」(サンデー毎日)など。

最近の学校教育について思うこと

真鍋孔透

先日、小学5年生の息子が学校で嫌なことがあったというので話を聞くと、学校の決まりを守れず指導されたとのことでした。近年学校では、男女関係なく「さん」付けで呼ぶよう指導されるそうですがそれができなかったようです。この指導の意義はいじめ対策とLGBTQ対策の両面があるようです。

いじめ対策として、先生からは「AさんとBさんがあだ名で呼びあっていて、Cさんだけ名前と呼ばれたら、Cさんはどんな気持ちになります

か？寂しいですね、だから全員「さん」で呼びましょう」と説明があるようです。こんなことでいじめがなくなるでしょうか？仲良くなればあだ名で呼びあったり仲間で集まるようになるのは大人社会でも全く同じで防ぎようがありません。

実際児童たちは先生のいないところでは「さん」付けなど全くせず好きな呼び方で呼びあっているようです。この指導で面白いのは、運動会では気持ち盛り上がるだろうから、3回は「さん」付けをしなくてもいい、学校を出たら「さん」付けをしなくてもいいとの例外があることです。思わず笑ってしまいました。このことが全てを物語っていると思います。



LGBTQ 対策の観点からはどうでしょうか。例えば体は女性、心は男性の子が、「くん」ではなく「さん」で呼ばれると傷つくので「さん」で統一しようという理屈です。一見理にかなっているようですがどうでしょうか。一昨年学校保健大会でLGBTQの専門家の講演を聞きましたが、その中で興味深かったのは、LGBTQ対策で制服を中性的なものにすることがありますが、体は女性、心は男性の生徒は、本当は学ランのような男性っぽい制服を着たいと思っていることも多く、中性的にするという対策が当事者の意に沿わない場合があるという話でした。学校のLGBTQ対策は、男女の区別をできるだけなくし、中性的にしようとするものです。「さん」付けもしかりですが、運動会で男女別を止める、トイレのスリッパを男女同じ緑にするなどです。しかし、男女の区別は重要です。成長期の小中学生が、男性が男性らしく、女性が女性らしくなるのが健全な成長だからです。本当に大事なものは、男女の区別をなくすことではなく、心と体の不一致に悩む子がいることを理解し、その子たちが戸籍上の性とは違う性の格好をしたり話し方をしても、何事もなく受け入れるこ

とができる寛容性を養うことではないでしょうか。



「さん」付け指導について、学校の先生の考え方とは違いますが、自分の考えを息子に正直に伝えました。ただこのままでは、先生の指導を守らなくてもいいことになってしまいますが、それではいけません。いろいろ話し合い、最終的に「我々と学校の先生とでは考え方が違うが、学校という組織にいる以上、規則は守らなければいけない、だから学校にいる間は規則を守るよう努力なさい。」とまとめたところ、「すごくすっきりした、ありがとう。」と笑顔になり、腑に落ちた様子で安堵しました。子供の話を聞いて、一緒に考えることの大切さを実感しました。これからもできるだけ子供と話をすることを大切にしたいと思います。

第28回西日本区大会のご案内

山村 喜久

早いもので、昨年名古屋で開催された日本区大会より1年が経とうとしています、今年は神戸で区大会が開催されますので、一人でも多くの方にご参加頂きます様ご案内致します。

【西日本区大会】

日時：6月14日（土）

バナーセレモニー 12:30～

ディナーパーティー 17:30～20:00

メネットアワー 10:00～11:30

会場：ANAクラウンプラホテル神戸

登録費：21,000円（4月7日まで）

【前夜祭】6/13 ポートピアホテル 参加費：12,000円

【親睦ゴルフコンペ】6/13 芦屋カントリークラブ

プレー代 16,570円 参加費 1,000円

【メネットアワー】6/14 参加費 2,000円

【宿泊】各自にて手配して下さい。

【申込締切】3月27日（第2例会）まで

【登録費】4月7日（第1例会）浅野会計まで

訃報

鈴木孝幸君が2月22日（土）永眠されましたことを謹んでお知らせいたします。